

第85回: 世界最速の事故処理

チャイナウォッチャーのはしくれとして、中国事情には地理天文から兵法占トに至るまで広く通じ、少々の出来事には動じないと(一人勝手に)自負してきたが、7月23日に温州(浙江省)で発生した高速鉄道事故には肝を潰した。事故に吃驚したのではない。中国共産党創立90周年記念日である7月1日、北京と上海を結ぶ新幹線が開通し、その日に某紙のインタビューに答え「鉄道部門はこれまで『世界最高速の新幹線を国家行事や大イベントに間に合うよう大至急完成させろ』と命じられ、やむなく突貫工事でつじつまを合わせてきたが、今後はこの『二つの速度優先』のツケを払うことになるだろう、それが悲惨な鉄道事故でなければよいのだが」とコメントしたばかりであった。

唾然としたのは23日に事故が発生し、現場が右往左往するなか、翌24日に上海鉄道局のトップ3名が電撃的に解任された。同日現場では大型パワーショベルやブルドーザーが数多く登場、これで人命救助が本格化すると思いきや大きな穴を掘り始め、地上に落下した事故車両の運転席をガシガシ壊しながら土中の穴に放り込み始めるではないか。その直後残骸のなかから2歳の女兒が救出されたにも拘わらず、車両撤去作業は急ピッチで進み、あれよあれよという間の25日には運行が再開されてしまった。流石は世界に誇る中国版新幹線だけあって、事故処理の速度だけは間違いなく世界一であった。(証拠隠滅行為を内外から非難され、埋めた電車を掘り起こしたのは恥の上塗りだ論評に値しない)

今回の事故における鉄道部(政府直属の「省」)のやり方は何から何まで出鱈目である。そもそも事故原因も分からぬうちに組織のトップを解任するとはどういう料簡だ。もしも原発事故が発生した翌日、電力会社の社長と現場の発電所長が解任されたら被害者だって困る。まずは事故処理と原因究明が最優先、責任者の処分はそのあとである。テレビ中継でばっちり映ってしまったが、高架に引っかかっていた列車を落として処理する国は中国だけだろう。ましてやブルドーザーで事故車両を(それも運転席から)破壊しながら穴に放り込むとは言語道断だ。証拠隠滅もけしからんが、車内に散乱する遺留品や遺体の一部をごみのように捨てる神経には身の毛がよだつ。温家宝首相が陣頭指揮を執りながら「死者の冥福と遺族への配慮を考え、遺留品には最大の敬意を払え」と命じたが、同じ中国人でこの両者の落差は一体何だろう。

列車を土中に廃棄する作業中、その車内で伊伊ちゃんという2歳の女兒が救出されたのは唯一の明るいニュースであるが、鉄道部から見れば最悪のタイミングであった。報道官は答えに窮し「あわわ、これはキ・奇跡だ」と口走ってしまったが、こんな野郎が将来鉄道部で出世すればそれこそ奇跡である。

鉄道部は安全確保や原因究明よりも営業を優先し、事故二日後に運転を再開したが、これら一連の愚挙が最近ものを言い始めた庶民、特に80年代以降に生まれた若い世代を激怒させ、彼らネット世代に引きずられるように、これまで一切もの言わぬ存在だったマスコミも政府批判を口にし始めた。

中国共産党には宣伝部という泣く子も黙る怖い組織があり、これが中国のプロパガンダを一元的に掌握してきた。今回の事故でも、「国際政治も絡む微妙な問題であり報道をクールダウンさせよ。救助隊の不眠不休の活動や、市民の献血活動等のプラス面の報道に絞れ。当局報道以外は許さない」といったお達しが

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

出た29日以降、現場から中国人記者は消えたが、マスコミの一部は体を張ってゲリラ活動が続いている。「南方都市報」は31日、どんなに上品に翻訳しても「くそつたれ！」としか表現しようのない「他媽的！」という最大級の罵詈雑言を鉄道部に投げつけた。浙江省の「錢江晩報」は大きな余白の下に「へつらうよりは空白の方がましだ」と書いた。中国にも勇敢な記者や編集長がいるようで、彼らの抵抗は大喝采を浴びている。

携帯メールやインターネットの世界は更に過激である。政府や鉄道部への批判や抗議活動の呼びかけが連日飛び交っている。26日夜、杭州で行われた追悼集会で参加者たちが「立て、隷属を望まぬ人たちよ」と国歌「義勇軍行進曲」を歌い、精一杯の抵抗を示した。名画「カサブランカ」のラ・マルセイエーズ合唱と重なるシーン、あっぱれだ。党中央も対応に必死である。28日には温家宝首相自ら現場に飛び、被害者たちの前で「11日間も病気で寝込んでいた」と視察が遅くなった理由を告げて理解を求めたのには魂消た。中国で要人の健康は国家機密であり、最高指導部がそれだけ強い危機感を抱いている証左である。

今回の列車事故は極めて残念な事件であり、中国の驚異的な高度成長がもたらした悲劇ともいえよう。中国が僅か6年の短い歳月で日本の新幹線の4倍に相当する9000キロ近い路線を開通させたことは驚異的なできごとである。かつては図体が大きだけで、古い技術しか有していなかった中国中鉄(00390)、中国鉄建(01186)、中国南車(01766)といった企業が急成長を遂げ、国際的企業に育ちつつある点は称賛に値する。今回の事故の責任はこれらの企業とは別の部門にあるようだが、新幹線銘柄として業界が一定の打撃を受けるのは避けられないだろう。但しその影響は限定的である。幸か不幸か、未だ中国国内を主戦場とする企業に留まっており海外への影響が少ないからである。

中国が一刻も早く日本に追いつきたいと焦るのは分かるが、安全第一である。中国も日本が「こだま」、「ひかり」、「のぞみ」と独自の技術をステップアップさせるのに長い時間をかけてきた理由をよく考える必要がある。中国の開発モデルは日本と異なり、日本やカナダ、ドイツ等の技術をバラバラに取り入れ、これに中国独自のシステムを組み合わせたものである。其の言や善しだが、「いいとこどり」は簡単なようで難しい。中国の公式報道、「落雷で信号が故障し」、「なぜか赤信号が青信号と表示され」、「担当者が見落とし」、「非常ブレーキが間に合わず」云々といったニュースを聞いていると眩暈を覚え、もしかしたら蒸気機関車の事故かと勘違いしてしまいそうだ。世界中から寄せ集めた技術を自分の技術と強弁し、世界特許を取得するには未だ(100年とはいわないが)20年は早いような気がするのである。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成23年8月5日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075% (税込み) (約定代金が260,869円以下の場合、3,150円 (税込み)) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20% (税込み) (約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円 (税込み)) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。